

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 4 回 定例委員会
日 時	令和3年4月23日 自 15時00分 至 15時55分
場 所	第2庁舎2階南会議室
出席委員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	齋 藤 智 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 田 中 真 奈
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 神 保 英 士 学 校 給 食 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（齋藤智子委員）
3 会議録の承認
（五十嵐教育長） 第3回定例教育委員会（令和2年3月26日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（五十嵐教育長） 4月1日付学校教員の人事異動辞令交付式を2日に教育センターで行いました。校長17人、教頭19人、そして新採用教職員16人については、私から辞令交付を行い、一般教員については、各学校で校長から辞令を渡してもらいました。また、教育委員会事務局職員については、栄養士の採用1人を含む21人に対して辞令交付を行いました。人事異動は、自己研鑽のよい機会となるものですが、特に今年は、教育部の内部昇格者が課長補佐職で2人、係長職で5人と例年になく多く、昇格したことによる効果が本人のみならず、組織の職務遂行力の向上につながることを期待するところであります。
小中学校の入学式については、新型コロナウイルスの影響で、来賓始め保護者、在校生など出席者の制限や午前と午後に分けて開催するなど、学校ごとに感染症対策に

工夫を凝らしながら、4月7日、8日の両日に行われました。また、昨年実施されなかった授業参観も行われるなど、各学校において今のところ順調に、新年度の学校活動がスタートしたところです。

9日に令和3年度第1回胆振管内教育長会議がオンラインにより行われました。

「オール胆振で教育効果の高い学校づくり」を推進テーマとする「令和3年度胆振管内教育推進の重点」の説明のほか、スクールロイヤーの今年度導入に向け、弁護士会と調整中であること、胆振管内の女性管理職割合が4.9%から6.8%に上昇したにもかかわらず、道内最低であることなどの報告がありました。

15日には、新年度第1回目の定例校長会議が入院中の岩倉市長に代わり佐藤副市長の出席を得て開催されました。委員の皆様、お忙しい中、出席ありがとうございました。来賓の退席後、私から令和3年度の教育行政執行方針について説明をするとともに、増加している教員の交通事故違反についての注意喚起とタイムリーな休暇取得など健康管理への配慮を校長にお願いしております。

19日に転入校長研修会が開催されました。対象者は転入5名、採用5名の10名（当日1名欠席）でした。限られた時間ではありましたが、自己紹介と校長就任に当たった抱負を聞かせてもらいました。校長という重責を担う緊張感とともに、学校経営にかける意気込みが一人一人から伝わってきました。転入者であっても本市の事情を理解している校長が多く、安心して学校を任せることができると認識したところです。

最後になります。昨年度は、姿の見えないウイルスとの闘いの中であつという間に時が過ぎた感のある1年でした。今年度、教育行政においては、道立苫小牧支援学校の開校、新第2学校給食共同調理場の供用開始などの明るい話題があります。しかし、変異ウイルスが広がりを見せていることから、学校活動、行事などへの影響が懸念されます。学校においては、新たな生活様式に基づく感染症対策や、子どもたちの心のケア対応を怠ることなく、「チーム学校」で学びの保障に全力を挙げて取り組んでいかなければならないと考えております。4人の委員の皆様と常に情報を共有し、共通

の認識のもと、本市の教育行政を推進するため、お力添えをいただきたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 学校給食食物アレルギー対応の拡大について

(学校給食調理場長) -学校給食食物アレルギー対応の拡大について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(高橋委員) 確認ですが、小中学校における食物アレルギー対応の方針の(3)学校給食食物アレルギー対応食のアレルゲン拡大についての中に「第2学校給食共同調理場の改築により令和4年1月提供開始」とありますが、その他の文書では4月からとなっており、どちらが正しいのでしょうか。

(学校給食調理場長) 第2学校給食共同調理場については、令和4年1月に稼働開始を予定しております。アレルギー対応食の対応につきましては、令和4年の4月からということでございます。3ヶ月ずれていることに関しましては、1月の稼働開始と同時に、和え物等の副菜が一品追加される予定となっております。学校現場において、一品追加さらにアレルギー対応食の拡大となると、ほとんどの学校でアレルギー対応食が始まることとなりますので、一斉に始めてしまうと混乱等が起き、誤食等の事故が起きる可能性が高いというところで、まず、1月に副菜の追加、少し期間を置いて4月からアレルギー対応食の拡大をしたいと考えております。

(高橋委員) わかりました。ありがとうございます。

(五十嵐教育長) その他、いかがでしょうか。
(岡田委員) 現在の、苫小牧市内の小中学校において、食物アレルギーが原因とみられるような、体調不良等の事象は年に何件くらいあるのかわかりますでしょうか。
(学校給食調理場長) 給食を食べて調子が悪くなった等の話は、私どもの方では聞いておりません。午後、給食を食べた後に運動をして発作が起きることがあるかもしれませんが、給食調理場では数字はおさえておりませんでした。
(五十嵐教育長) 学校現場で何かおさえている情報はございますか。
(池田参事) 昨年度についても、今年度についても給食に関わる体調不良の報告は、受けておりません。
(岡田委員) わかりました。
(五十嵐教育長) その他、いかがでしょうか。
(齋藤委員) アレルギー対応食の食数が増えることによって、アレルギー対応食を食べる人数が増えますが、いままで28人だったのが、150人となると、学校現場でアレルギーのお子さんにきちんと提供するのには、間違いがあってはならないと思うのですが、間違いのないようにどのように提供をするのかお伺いしたいです。
(学校給食調理場長) アレルギー対応食の対応がある学校については、通常の給食コンテナの他に、別の箱を用意しまして、かごに1セットにして各学校に配送をしています。各学校での取り扱いについては、学校ごとに若干異なりますが、基本的に配膳室に届いたものを、校長室または職員室へ直接持っていきます。給食時間の時に、中学生は自分で取りに行き、小学生は担任の先生が付いて取りに行き受け渡しをすることとなっています。教室で配膳する際は、通常食を先に配膳し、アレルギー対応食の子の分は、魔法瓶等に入っていますので担任の先生と一緒に最後に食器に入れる対策を取っています。
(齋藤委員) わかりました。ありがとうございます。
(五十嵐教育長) 参考までにですが、牛乳が飲めずに麦茶に代替している人数はどのくらいいるのでしょうか。

(学校給食調理場長) 今のところ、全体で200名弱でございます。
(五十嵐教育長) わかりました。その他にないでしょうか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。
第2号 図書館協議会委員の任命について
第3号 教職員の処分について(内申)
(五十嵐教育長) 議案第2号及び議案第3号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第2号及び議案第3号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。
6 報告・協議

(五十嵐教育長) 報告・協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) これより、先ほど秘密会と決定しました議案第2号及び議案第3号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。
(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第2号及び議案第3号につきましては、原案どおり決定しましたことを申し添えます。
7 その他
(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。
(一同「なし」の声)
8 委員会閉会の宣言 (五十嵐教育長)・・・15時55分